

2011 年春学期授業アンケートのまとめ

ありました。

授業の難易度については、基本用語のより充実した解説の必要性を痛感した、内容が難しいという声が増えたなどのように、基礎的な内容を徹底する必要を感じておられる先生方が多かったようです。

逆に、授業内容について、「専門性」を上げてほしいというコメントがあり、難易度を上げたが、結果的には効果があったという声もありました。

6) 授業方法の改善

学生が多様化するなかで、それぞれの先生方は独自の方法で授業改善に取り組んでおられます。

4 演習科目について（基礎演習以外）

1) 学生の「二極分化」について

一方では、少人数の教養演習では予習してくる学生が多い、最初からモチベーションが高い学生が多くたくさん本を読ませ、自由に議論させることで、大きな教育効果があった

いう「改善」がなされたというコメントが出されていきました。率直に、「多くが英語を苦手とする学生にどうしたら予習をさせることができるであろうか」と胸の内を書かれる先生もおられました。先生方のご苦労とご努力がうかがえます。

さらに複雑なのは、必ずしもクラスを一元的にとらえてはならないという点です。ある

小テストを毎回行ったが、大変だという意見はあるものの、「よく勉強できた」という評

